

KOSEA KOLINISAU



すべての喜
びの源

オセア・コリニサウは、2016年リオ五輪において旗手を務めたフィジーのプロのラグビー選手です。また、フィジーの7人制ラグビーチームのキャプテンを務め、フィジーのオリンピック史上初のメダルとなる金メダルに導きました。Kolinisauは、ラグビーのメジャーリーグでプロとして米国でプレーしています。

ラグビーのキャリアにおいて現在の地位に到達するには、多くの努力とトレーニングを必要としました。父の教えとサポートすべてに感謝しています。牧師である父は、努力とイエス・キリストへの信仰があれば、不可能なことはないと教えてくれました。私は自身の人生で、それが実を結ぶのを見てきました。私に才能を与えてくれたのはキリストであることを知っていますし、それをキリストの栄光のために利用するために、キリストから与えられたチャンスに感謝しています。

2016年リオ五輪への出場は素晴らしいものでした。私が国旗を持つことになるとと言われとき、それは私にとって大きな意味を持ちました。それ以前にオリンピックの開会式を見たときは、常に照明、スポーツ選手たちの入場、そして各国を代表する国旗を見ていました。世界で最も偉大なスポーツイベントの一つであるこの大会で、自分がこの国旗を持って歩くことになると、感慨深いものがありました。ラグビーはフィジーにとってNo.1の国際スポーツです。自分自身とチームだけでなく、家族と国を代表できることを誇りに思いました。これは大変光栄なことでした。

「主はわたしを生れ出た時から召し、母の胎 を出た時からわが名を語り告げられた」

—イザヤ書 49:1



オリンピックへの出場は、まったく新しい次元の喜びをもたらしました。以前は、国歌が流れる必ず泣いていました。しかし、オリンピックでは、笑顔になることができました。

「なんでそんなに笑っているの?」と聞かれても答えられませんでした。私はただ、自分の中に湧き上がってくる喜びのために笑いたかったのです。

自分の国を代表する機会よりも、神の国を代表するという特権の方が大きいのです。これに勝るものはありません。金メダルを獲得することもできますが、最大の賞は、自分が神の子であることを知ることです。誰にとっても最大の目標は、イエスを自分の主であり救い主として知ることです。

私がラグビーを楽しむことができるは、神のおかげです。神は、私の喜びの源なのです。キリストが私の中にいることで、私は、説明できないほど平安と落ち着きを経験します。私とチームメイトは、試合の前後に必ず祈りを捧げ、神との時間を過ごしています。朝には皆一緒にディボーションを行い、トレーニングの後にも再びディボーションを行います。私たちがデボーションをする理由は、イエス・キリストにあることをみんなが知り、死と復活によって私たちを死から救い、命をもたらしてくださった方が私たちの味方だからです。

私がラグビーを引退したとき、人々が振り返って私を見て、私が他の選手と違っていたことに気づいてくれることを願っています。私が何をしたかではなく、私が信じている方のおかげです。今日の私の姿を見て、私がここにいるのはキリストだけのおかげだと知ってもらいたいのです。

私の人生にキリストがいなかったら、今の私はなかったでしょう。オリンピックのメダルも獲得できなかっただろう。神が私を勝者に選んだのは嬉しいことですが、それよりも嬉しいのは自分が神の国の一員であることです。これは金メダル以上の価値があります。

フ
ノ
レ
イ
ル